

みずほCustomer Desk Report 2018/12/07号(As of 2018/12/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.00
TKY 9:00AM	113.04	1.1347	128.30	1.2725	0.7264
SYD-NY High	113.21	1.1412	128.44	1.2813	0.7273
SYD-NY Low	112.23	1.1322	127.67	1.2699	0.7192
NY 5:00 PM	112.66	1.1379	128.22	1.2783	0.7235
NY DOW	24,947.67	▲ 79.40	日本2年債	-0.1500	▲ 1.00bp
NASDAQ	7,188.26	29.83	日本10年債	0.0500	▲ 2.00bp
S&P	2,695.95	▲ 4.11	米国2年債	2.76	▲ 3.67
日経平均	21,501.62	▲ 417.71	米国5年債	2.75	▲ 3.72
TOPIX	1,610.60	▲ 29.89	米国10年債	2.89	▲ 2.35
シカゴ日経先物	21,580	▲ 325	独10年債	0.2335	▲ 4.15bp
ロンドンFT	6,704.05	▲ 217.79	英10年債	1.2420	▲ 7.05bp
DAX	10,810.98	▲ 389.26	豪10年債	2.4765	▲ 1.90bp
ハンセン指数	26,156.38	▲ 663.30	USDJPY 1M Vol	6.45	0.62%
上海総合	2,605.18	▲ 44.62	USDJPY 3M Vol	7.08	0.47%
NY金	1,243.60	1.00	USDJPY 6M Vol	7.54	0.29%
WTI	51.49	▲ 1.40	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	181.30	▲ 2.45	EURJPY 3M Vol	8.71	0.43%
ドルインデックス	96.78	▲ 0.29	EURJPY 6M Vol	9.02	0.22%

東京	東京時間、ドル円は113.09レベルで取引を開始。大手中国通信機器のCFOが米国の対イン制裁に違反した疑いでカナダ当局に逮捕されたとの報道を受け米国と中国の関係が悪化するとの見方から円は全面高の展開。日経平均株価が一時600円以上下落する中、ドル円は一時112.58まで下落。しかしその後は反発し、112.79レベルで海外に渡った。
ロンドン	本日ロンドン市場ドル円は112.81レベルでオープン。ポジション調整で一時113.16まで値を上げるも、米国の要請を受けカナダ調査当局が中国大手通信会社の幹部逮捕との報道を受け、米中通商問題が激化するとの見方にドルが売られた。また、米10年債利回りや主要欧州株が低調に推移、米長短金利逆転で景気後退への思惑もドル売り材料となり112.62まで値を下げ112.81レベルでNYへ渡った。ポンドドルは上昇した。1.2708レベルでオープン。12月11日のEU離脱協定案の英国議会採決を控え様子見ムード。米中通商問題、米10年債利回り低下や欧州株下落を背景にドルが売られポンドドルは値を上げ1.2772レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は中国通信機器大手の幹部がカナダで逮捕され、米国が引き渡しを要求していることが伝わり、米中関係悪化の懸念から日本株や中国株の下落を受け、112.58まで下落。その後、中国商務省の「90日以内に(米国と)貿易合意に達する自信がある」、「最終的な共同目標は全ての関税の撤廃」との声明に、買い戻しが進み一時113.20まで上昇するが、結局、112.81レベルでNYオープン。朝方発表された米11月ADP雇用統計などの米経済指標が予想よりも弱い内容だったほか、米金利の低下やダウ平均の下落が重なり、10月29日以来の水準となる112.23まで下落。しかし、10時発表の米11月ISM非製造業指数が予想を上回ったことや、米金利が2.85%台を回復する動きにサポートされ、112.61まで反発。午後は一時700ドル超下落したダウ平均が下げ幅を縮小する動きにつれて112.76まで上昇。その後、小幅に値を戻し112.66レベルでクロス。一方、海外のユーロドルは1.1322まで下落する場面も見られたが、1.1340近辺で方向感なく推移し、1.1349レベルでNYオープン。朝方は米金利低下を受けたドル売りが進んだことから1.14台を回復し、高値1.1412をつける。しかし、ブレグジット問題やイタリアの予算問題が依然くする中、上値は重く、反落。午後は1.1380付近で小動きとなり1.1379レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:関・網島

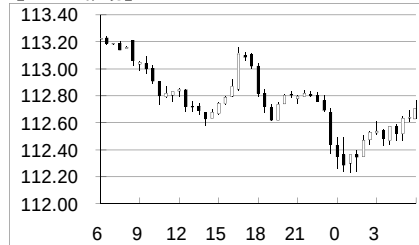
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月6日	09:30	豪 貿易収支	10月 A\$2316m	A\$3000m
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	10月 0.3%	0.3%
	16:00	独 製造業受注(前月比)	10月 0.3%	-0.4%
	22:15	米 ADP雇用統計	11月 179k	195k
	22:30	米 貿易収支	10月 -\$55.5b	-\$55.0b
	22:30	米 新規失業保険申請件数	1-Dec 231k	225k
12月7日	00:00	米 耐久財受注(前月比/除輸送用機器)・確報	10月 -4.3%/0.2%	-2.4%/0.1%

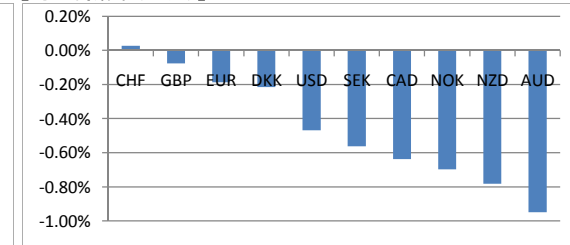
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月7日	08:45	米 パウエルFRB議長 講演	-	-
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	3Q 0.2%/1.7%	0.2%/1.7%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	11月 198k	250k
	22:30	米 失業率	11月 3.70%	3.70%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	11月 0.3%/3.1%	0.2%/3.1%
12月8日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	12月 97	97.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.20	1.1320-1.1400	127.20-128.70

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は下落。米国の要請でカナダ当局が中国通信機器大手CFOを逮捕したとの報道を受け、米中貿易摩擦懸念が再燃すると、リスク回避姿勢が強まり円買い・ドル売りが優勢となった。発表された11月ADP全米雇用報告が予想を下回ったほか、10月米貿易赤字が10年ぶりの高水準となり対中赤字が過去最高となった事もドル売りに拍車をかけ、一時112.24円の安値を付けた。11月米ISM非製造業指数が予想を上回ったこともあり、売り一巡後は下値を切り上げ、足元112.70円近辺まで値を戻している。本日は、米雇用統計が発表され、予想比悪い内容となった場合には、昨晩の下値を試す展開も想定しておきたい。FRB議長の講演も予定されており、今後の米国利上げ動向を占う上でも発言内容は警戒が必要だろう。